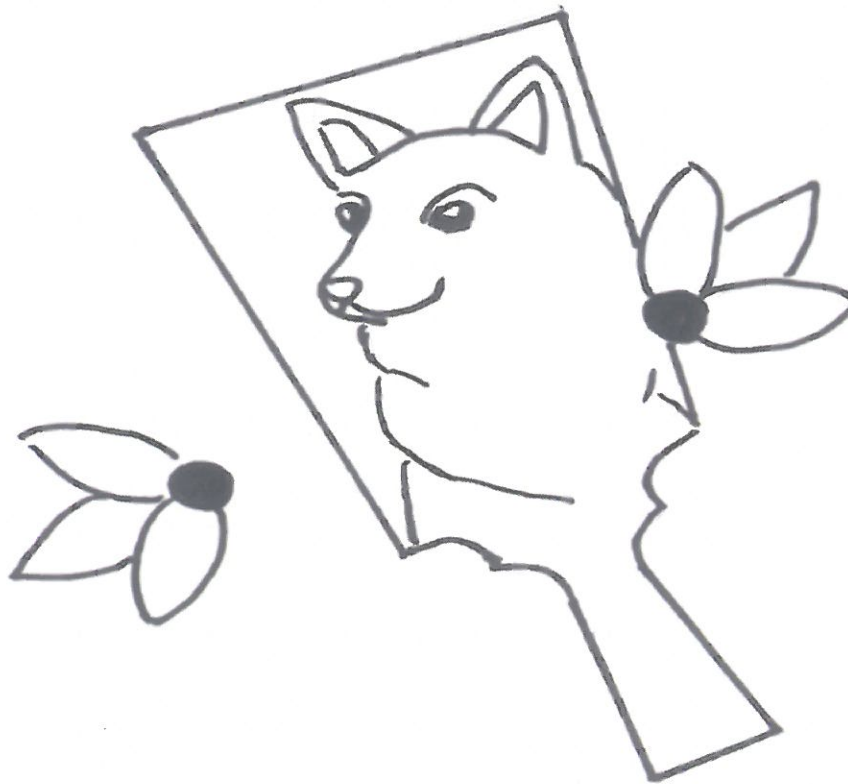


SSKO

社会福祉法人 はらからの家福祉会

われら同胞

NO.51



☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 p 新年のご挨拶
- 3 p 精神保健福祉講座ご案内
- 4 p プラッツ旅行報告
- 5 p 合同ソフトボール大会報告
- 6 p 賛助会コーナー

謹賀新年

新年あけまして
おめでとうございます

旧年中は、はらからの家福社会の諸事業に対し、皆様の温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

平成も30年になりました。国分寺駅北口の再開発は着々と進み、春には駅ビルがオープン、あの大きなマンションへの入居も始まるようです。駅周辺に新しいお店がいくつも開店していて、一年前がどんな様子だったか思い出すのが難しいほど、日々街の風景が変わっています。国分寺の街に新たな風が吹き込み、街が活気を帯びてきているように感じています。

はらからの家福社会は「障害を持つ人も住みやすい地域社会の創造」を理念に挙げています。新たに変わりつつあるこの街が障害を持つ人にとって、より住みやすい地域となっていくために、自分には、当福社会には何ができるのかを自問しつつ活動していく1年にしたいと思います。

支援に注力するほどに、ともすると閉じた関係になりがちな利用者さんと支援者ですが、利用者さんとともに、街に広がり、人とながり、関係を開いていく活動を心がけたいと考えています。

街の力、人々との出会いをエネルギーにしながら、今年も職員一丸となって努力してまいりますので、更なるご支援を心からお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

2018年元旦

社会福祉法人はらからの家福社会
理事長 藤田英親



社会福祉法人 はらからの家福祉会 ・ 万葉の里 共催企画

第31回 精神保健福祉講座

まちで暮らす

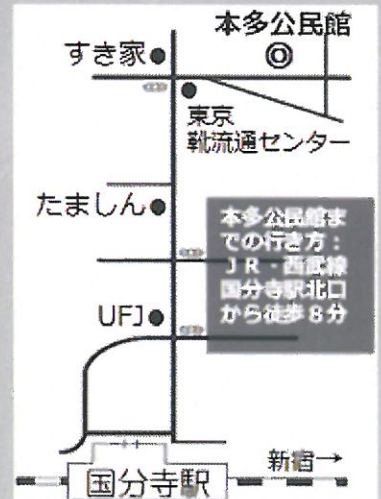
「地域包括ケア」は暮らしの支えになるか～



日本の精神科医療は長期入院者の地域移行(退院)の流れとなってきました。しかし、精神科医療自体が地域生活を支える形としての整備がまだなされておらず、退院されてくる市民の方の生活を支える力が弱いと言われています。

そういった流れの中、国は「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」という『在宅生活を中心にしていく』考えを政策として進めていく方針を出そうとしています。

講師に認知症高齢者の『在宅生活の継続』に力を入れている上野秀樹先生をお招きし、まちで暮らす一員として、この政策は一体どのようなもので、そして、私たち市民の生活にどのような影響があるのかを皆さまと考える機会としたいと思います。



講師：上野 秀樹 医師

敦賀温泉病院(福井県)・社会福祉法人ロザリオの聖母会 海上療養所(千葉県)・千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 特任准教授であり、元内閣府障害者政策委員会委員として国が目指している「在宅中心」の体制作りに取り組み、注目を集める精神科医。

認知症の方も精神障害者の方も、在宅で生活していけるということを主張し、精神科病棟転換型居住施設への反対等々、テレビや新聞を通して市民にも伝わりやすく発信されている。

近著「認知症医療の限界、ケアの可能性」は日本医学ジャーナリスト協会賞大賞を受賞している。

とき 2018年2月24日(土) 13:50~17:00 (受付 13:30~)

ところ 国分寺市本多公民館 定員 200名 資料代 200円
(JR・西武線 国分寺駅 北口から徒歩8分)

事前申し込みはありません。当日会場にお越し下さい。

問い合わせ先 TEL:042-323-5637 (はらからの家福祉会：作道・毛塚・藤井)

● 主催：社会福祉法人 はらからの家福祉会 ● 共催：社会福祉法人 万葉の里

◆ 後援：国分寺市・国分寺市教育委員会、国分寺市社会福祉協議会、都立多摩立川保健所、都立多摩総合精神保健福祉センター
◆ 協賛：国分寺市障害者団体連絡協議会、国分寺あゆみ会、国分寺すずかけ心療クリニック、はらからの家福祉会賛助会



プラッツ大洗 一泊旅行

赤い羽根共同募金助成を頂き、行って参りました

十一月十四・十五日を使い、茨城県大洗町・つくば市へ旅行に行つて参りました。

一日目は、筑波山の麓にある神田屋という場所で和定食をいただきました。その後は、筑波神社を参拝いたしました。神社も大きく、空気がとても澄んでいました。その中での参りは、爽やかに過ごすことができました。お天気はあいにくの曇りで、お参りを終えた時点からは、本格的に雨模様となってきました。

その後は、つくばエキスポセンターで、現代の科学を体験してきました。実際の隕石を触ることもできました。見た目は、そんなに大きくないのですが、ずっしりと重く、貴重な体験をすることができました。外には、高さ50mのロケット模型もあり迫力がありました。

バスはいよいよ宿に向かいます。かんぽの宿大洗にて、とても充実した宴会の時間を楽しみました。毎年恒例にもなりつつあるカラオケを

今年も行いました。とても盛り上がり、名残り惜しくも閉会となりました。その後は、温泉にゆっくり入る方や、お部屋での談笑を楽しまれる方それぞれいらっしゃいました。この時間は、旅行ならではのなごみを感じられました。楽しく、大切な時間を過ごすことができました。



大宴会でかんぱーい！！

最終日となる二日目の最初の観光は、アクアワールド大洗水族館です。



お刺身おいしかったです！！

マンボウ・チンアナゴ・亀・カピバラ等様々な可愛らしい海の生物たちがたくさんいました。その中でも、印象に残っているのは、アシカ&イルカのショーです。大迫力でした。前方に座るご家族は、ブルーシートをばっちり準備しています。それも、こちらのショーでは水を豪快に飛ばすパフォーマンスが有名との事。今回も、豪快に飛ばしていました。アクアワールド大洗水族館では、素敵な海の生き物を鑑賞してきました。

続いての向かうのは、ヤマサお魚センターで、お刺身定食をいただきました。木のお皿にのったお刺身の数々。

一緒に出てきた、お味噌汁もアサリがいっぱい入っていて美味です。こちらの場所では、味覚で海の幸を楽しむことができました。



波を感じられるほどに近づく事が出来ました。

その後、かねふくの明太子製造工場をめんたいパークに立ち寄り、バスではカラオケを楽しみ、無事に帰って参りました。今回は、メンバー六名・職員五名の計十一名での旅行になりました。誰もケガすることなく、無事に国分寺まで戻ってきました。

すずかけ心療クリニック・はらから合同ソフトボール大会



12月1日(金)にけやき運動場でソフトボール大会を行いました。
すずかけ心療クリニック対はらから合同チーム(グループホーム・フラッツ・さつき)の対戦。
・・・結果は 5対20で すずかけ心療クリニックの勝利でした。
寒空の下でしたが気持ちは熱くもりあがりました ^ ^ /



はらからの家福社会賛助会コーナー

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞(本誌)」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っております。皆様の会費は毎年取りまとめてはらからの家福社会に寄付させていただきます。

入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込ください(同封の振込用紙も使えます。)

郵便振替口座番号

00180-8-130179

加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費を納入いただいた方の名前を本誌に掲載させていただきます。

匿名希望の方はその旨通信欄にお書きください。

<平成29年度8月から10月の間に賛助会費をご納入頂いた皆様(順不同 敬称略)>

石井 正義 石川 義博 小川 好秀 奥澤 佳子 小林 和代 小峯 尚三 須長 三郎 竹内 幸子
服部 淳子 濱野 信一 三浦 香織 宮内 禮子 田辺 小夜子 松本 紀久代 渡辺 千代子
高田 守 藤沢 歩 分島 徹 ケアセンターやわらぎ (有) さやか企画 (有) 友好自動車
匿名1名

はらからの家福社会ホームページ

<http://harakaranoie.com/>



あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます。

われら同胞編集委員一同

【編集人】

社会福祉法人はらからの家福社会

〒185-0021

東京都国分寺市南町3-4-4

TEL 042-323-5637

FAX 042-328-3240

E-Mail harakara@jcom.home.ne.jp

【発行人】

障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073

東京都世田谷区砧6-26-21

【定価】¥120

